

長野市行政DX推進計画（抜粋）

表 4 行政運営の変革 課題と視点（目指す方向性）

行政運営の変革	
<p>ペーパーレスやBPRを軸とした行政DXにより、庁内業務の効率化など市役所業務の変革を目指します。</p>	
課題	「視点」 目指す方向性
<p>①行政手続のオンライン化</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル手続法で、行政手続の原則オンライン化が努力義務とされる。 市民の要望がある。 国が、行政手続のオンライン化の推進を掲げている。 	<p>●手続のオンライン化</p> <p>マイナンバーカードの活用等により、各種行政手続のオンライン化を進めることで、行政サービスの高度化・利便性の向上を目指します。</p>
<p>②必要な情報をいつでも誰でも取得できる情報発信方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政情報等の取得に対する「不満」の主な原因は「情報の探しにくさ」 スマートフォン等の普及とSNSの活用促進 	<p>●市民と行政をつなぐ情報発信</p> <p>スマートフォンやSNSが普及する中、より市民と行政とが双方向性を意識した情報発信を通じ、市民とともに作る市政を推進していきます。</p>
<p>③誰一人取り残さない・誰もがデジタル化社会の恩恵を享受できる社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 国が、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化を進めていく方針を掲げている。 70歳以上のインターネット利用率は5割を下回る。 ICTに詳しくない方や使う環境にない方への配慮を求める声がある。 	<p>●デジタルデバйд対策とリテラシー教育</p> <p>社会のデジタル化が進展する中、誰も取り残さないための情報格差是正と、ICT教育などデジタルリテラシーの向上を推進します。</p>
<p>④データ利活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政保有データのオープン化と活用推進 	<p>●データ活用</p> <p>オープンデータの分析・利活用による地域課題の解決や新たなビジネスの創出に向け、ニーズをとらえた事業を展開していきます。</p>
<p>⑤先端技術の活用による安全・安心な社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 国が、デジタル強靱化による社会構造の変革・社会全体の行動変容の両面に取り組む方針を掲げている。 社会生活へデジタル技術の導入・活用を進め、将来にわたり持続可能な社会の仕組みへ変革を図っていくことが必要 	<p>●安全・安心</p> <p>情報化技術の活用により、安全・安心が実感できる社会の実現を目指します。</p>

課題	「視点」 目指す方向性
<p>⑥行政体の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が、情報システム等の共同利用の推進及び AI・RPA 等による業務効率化の推進を掲げている。 ・地方公共団体情報システムの標準化に関する法律で対象とされたシステムの標準化に対応する必要がある。 ・限られた資源の中、将来にわたって行政サービスを継続的に提供していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●行政経営 限られた経営資源で将来にわたり適切な行政サービスを継続的に提供していくため、システム標準化への対応など効率的な行政経営を目指します。 ●働き方改革 テレワークの拡大や AI・RPA 等の導入推進を図ります。 ●先端技術導入 ロボットなど先端技術の活用や、更なる新技術の動向についても情報収集、調査研究を進めます。

3 実施計画の構成

実施計画は、「基本方針」を実現するため、計画期間中に実施する取組をまとめたものです。

実施計画は、第3章の2（情報化に向けた本市の課題と方向性）で整理した結果を踏まえ、「情報化ビジョン」と、これを実現するための8つの「施策分野」、そして各施策分野を推進していくための32の「取組」から構成されます。

また、「取組」は、令和4（2022）年度から新たに実施していく「新規取組」と、それ以外の「継続取組」とに整理して記載します。

さらに、「新規取組」のうち、将来的な視点から調査・検討を始め、実行に向け具体的な検討を深めていく取組については、「検討分野」として整理、記載します。

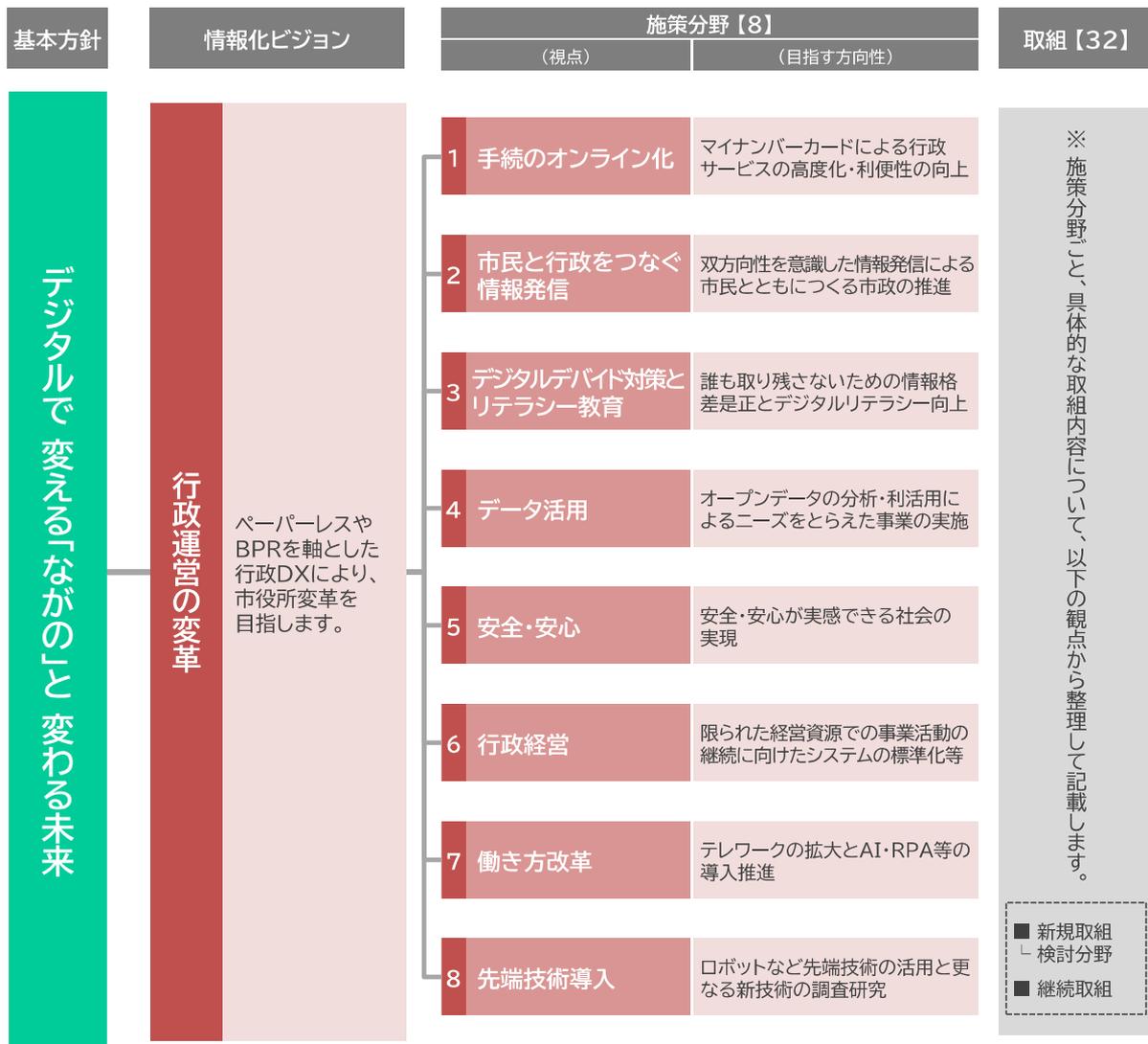


図 12 長野市行政 DX 推進計画「実施計画」の構成